

# 名護屋城博物館「出前講座」のご案内

佐賀県立名護屋城博物館では、学芸員や国際交流員を講師として派遣する「出前講座」を下記のとおり行っています。  
 日韓交流史や特別史跡「名護屋城跡並陣跡」、佐賀県の歴史・文化など、御要望に応じたテーマ・内容でわかりやすくお話しいたしますので、講演会や研修、授業などにぜひ御活用ください。



黄金の茶室(復元)



草庵茶室(復元)

- 1 対象 学校の授業・講演会、生涯学習関係の講座、博物館見学等の事前研修などで、講師派遣を要望される団体
- 2 会場 お申込み団体の方で御準備ください。なお、派遣地域は原則として佐賀県内とします。
- 3 費用 講師派遣旅費をお申込み団体で御負担ください。
- 4 時間帯 原則として、平日の9～17時の間で時間設定をお願いします。休日や17時以降の時間帯を御希望される場合は、御相談の上で決定いたします。
- 5 申込み 原則として、講座開催希望日の1ヶ月前までに、本館へ御連絡ください。業務の都合により派遣が難しい場合もありますので、まずは電話で御相談ください。
- 6 講師およびテーマ

<p>館長 いえた じゅんいち 家田 淳一</p>	<p>○もう一つの海外やきもの貿易— 江戸時代、国交回復以後の朝鮮輸出 ○近代、肥前陶磁の朝鮮輸出 ○嬉野市志田東山の甕づくりの始まり ○朝鮮半島のやきもの—名護屋城博物館所蔵品からみた—</p>	<p>副館長 たけした まさひろ 竹下 正博</p>	<p>○松浦地方の仏像 ○蒙古襲来と九州の仏像 ○高麗時代の仏教美術 ○徳川家康の二つの肖像—武威と静謐あるいは救世—</p>
<p>学芸課長 みやまき ひろし 宮崎 博司</p>	<p>○佐賀県の城郭と城下町について ○文禄・慶長の役と名護屋城 ○発掘調査でわかった名護屋城跡や陣跡 ○名護屋にきた大名の逸話について</p>	<p>調査研究・ 史跡活用担当 係長 かとう ゆういち 加藤 裕一</p>	<p>○佐賀城跡の発掘調査について ○中世の出土銭について ○名護屋城跡と陣跡の保存整備について</p>
<p>企画普及担当 係長 ひきの てつや 久野 哲矢</p>	<p>○「黄金の茶室」と名護屋城 ○日記にみる文禄・慶長の役 ○書家・洪浩然の生涯</p>	<p>主査 おおはし まさひろ 大橋 正浩</p>	<p>○近世武士の住宅史 ○佐賀の建築史 ○安土桃山時代の建築 ○名護屋城上山里丸の草庵茶室</p>
<p>主事 いいたちかえ 飯田 周恵</p>	<p>○秀吉の肖像—つくられるイメージ— ○螺鈿と蒔絵—日本と朝鮮の漆装飾— ○津和野亀井家伝来の資料について</p>	<p>主事 たばた はるか 田畑 春香</p>	<p>○水野家時代の唐津藩 —『佐賀県近世史料』3-1を中心に— ○近世後期の鍋島家の葬式 ○佐賀藩の支藩について</p>
<p>主事 すえみつ ひろし 末光 博史</p>	<p>○唐津の古墳について ○塩について—古墳時代から名護屋城の時代まで— ○城の築城から破却まで</p>	<p>主事 はやし たくや 林田 卓也</p>	<p>○弥生時代から古墳時代のト骨について ○北部九州の弥生時代 ○東松浦半島と舌岐・対馬の交流史</p>
<p>国際交流員 チョン イウワン 千 譽沅</p>	<p>○ハンガルの歴史 ○韓国の衣食住 ○韓国旅行の知識と会話</p>	<p>会計年度任用 職員 いとう やま 糸山 よしの</p>	<p>○茶業の歴史 ○佐賀県のお茶 ○釜炒り茶の茶葉作り</p>

【お申込み・お問合せ先】

佐賀県立名護屋城博物館 (〒847-0401 佐賀県唐津市鎮西町名護屋1931-3)

TEL.0955-82-4906 (学芸課直通・担当宮崎) FAX.0955-82-5664

[E-mail] [nagoyajouhakubutsukan@pref.saga.lg.jp](mailto:nagoyajouhakubutsukan@pref.saga.lg.jp) [URL] <http://saga-museum.jp/nagoya/>